

第60回国民体育大会 冬季大会スケート競技会

やまなし・ゆめふじ国体



多くの県民が参加・協力して大会を成功させよう!

「氷上に映す 感動 夢 キラリ」をスローガンに「やまなし・ゆめふじ国体」が、平成17年1月30日から2月3日の間に、甲府市と富士吉田市を会場にして開催されます。本県での冬季国体は、平成13年1月に開催された第56回大会「かいじきらめき国体」に続く4年ぶり6度目の開催で、全国から選手など約1,200人が集い、氷上で競います。魅力と感動あふれるスポーツの祭典となるよう、広く県民の皆さんの参画により、大会を成功させましょう。



知事から一言

山梨県知事 山本 栄彦



あけましておめでとござい
ます。県民の皆さまには、期待と希望にあふれる新年をお迎えのことと存じます。
さて、今年の干支は酉(トリ)。トリは、夜明けを告げ、太陽を招くと言われ、誠にめでたい動物とされているようです。

昨年はオリンピックに沸いた年でありましたが、一方で、度重なる台風などによる災害や新潟県中越地震の発生など心痛む出来事もありました。ぜひ、今年は、山梨県民はもとより、誰もが喜びに満ちあふれた年となりますよう願わずにはいられません。
私も知事就任三年目の年を迎えました。三位一体の改革などに伴い、今後一段と厳しい財政運営を強いられることが予想されますが、昨年皆さまにお示しした山梨県長期総合計画「創・申

斐プラン21」に基づき、誰もが生きがいをもってはつらつと暮らすことができる「誇れる郷土活力ある山梨」を、県民の皆さまとともに築いていきたいと考えています。

この一月三十日からは第六十回国民体育大会冬季大会スケート競技会「やまなし・ゆめふじ国体」が本県で開催されます。山梨の良さを全国に発信し、参加者の心にいつまでも残る大会となりますよう関係の皆さまと協力しながら準備を進めてまいります。県民の皆さまには、全国から訪れる選手団の皆さんを温かくお迎えし、大会会場で熱い声援を送っていただくなど、ご協力をお願いいたします。
この一年が、県民の皆さまにとりまして、実りの多い年となりますことを心から祈念し、年頭のあいさついたします。

手作りの国体

皆さんを温かく 迎えたい

「やまなし・ゆめふじ国体」は、1月30日に富士吉田市の富士急ハイランドホールシアターで行われる開会式を皮切りに、スピードが富士急ハイランドセイコーパルで、フィギュアとショートトラックが甲府市の小瀬スポーツ公園アイスアリーナで行われます。

全国から選手監督などあわせて約一二〇〇人が参加し、大会関係者や一般観覧者を含めると延べ二万人が会場に集まると見込まれています。

大会中、開・閉会式や各競技会場では、選手団をはじめ、県外から来県される多くの方々を温かく迎えるため、会場の子どもたちやボランティアの皆さんが力を合わせて大会を盛り上げます。

開会式では、魅力と感動あふれるスポーツの祭典として、参加選手団をはじめ、式典出席者、観覧者などが一体となることのできる式典を開催することとしています。

地元の下吉田第二小学校の金管バンドクラブで構成するファンファール隊や富士吉田市民合唱団による合唱などが式典を盛り上げ、国歌斉唱では、富士吉田市出身のテノール歌手、大間知覚さんが「君が代」を独唱します。

また、今大会に参加するすべての都道府県選手団には、甲府市と富士吉田市の小中学校49校から、大会での活躍を祈って、千羽鶴が送られることになっています。

開会式に先立って披露されるアトラクションでは、山梨県女子体育連盟、甲府市立甲府商業高校、小島ダンスカンパニーの合同チームによるダンスパフォーマンスが繰り広げられ、小・中・高校生から大人までが一体となって、開会式の雰囲気盛り上げるとともに、国体の歩みと郷土紹介のビデオを上映し、本県の四季折々の

下吉田第二小の金管バンドの実力は県下でもトップクラス。県内や関東で行われる各種大会に出場し、昨年は「全日本小学校バンドフェスティバル」にも出場しました。ファンファアレを担当することになったのも、多くの大会出場経験と実力が認められたからです。



児童たちはそれぞれのパートで息を合わせて一つの曲を作り上げていくことに真剣に取り組んでいます。「今までうまく吹けなかったところが練習で上手になっただけのことや、みんなで一緒に演奏できたことや、みんなが一つ一つの音楽をつくり上げていくことが楽しい」と児童たちは話してくれました。

場内アナウンス

開閉会式の進行を務めるアナウンサーの役割は重要です。今回その大役を務めるのは公募により選ばれた4人。そのうち3人が大学生で初の体験です。主婦の田邊さんは「かいじ国体」でもアナウンスをしたことがある経験者でリーダー的な存在です。

「かいじ国体で教えていただいたアナウンスのノウハウを今回も活かしてみたい」と思って応募

しました。以前からコーラス活動をしていたので声を出すのは、わりと得意です。ノウハウを忘れてしまっていたところもあるので、その分、空いた時間に練習しています。大きな大会である国体に貢献できることを自分自身の張り合いにしたいと考えています」と田邊さん。



合同での練習は、NHK甲府放送局で定期的に行っています。発声や単語のイントネーションなどの基本的なことからはじまり、実際の原稿を用意して本番さながらの練習を行い、NHKのアナウンサーから指導を受けたり、お互いにアドバイスをしながらレベルアップを図っています。指導に



あたる柴田さんによると毎日、毎日の練習が大切だといいます。難しいのは本番直前で人の名前など、原稿の内容が変更になること。また、場内にいる人に聞き取りやすいようにすることも重要です。原稿を読むうちに読み上げるスピードは徐々に早くなつてしまいます。読み上げの速さに常に注意することで、場内にいる人に聞き取りやすいスピードを保つことができるそうです。

アナウンスは大会を印象づける重要な役割。4人は、会場の雰囲気や大いに盛り上げてくれることでしょう。

会場を花で飾る

風景・自然や県を代表する産業などを映像を通じて、県外からの選手・監督などの大会関係者に紹介することとなっています。

大会までわずかととなり、それぞれの団体が本番に向けて、最後の準備や練習に励んでいます。

色とりどりの草花を飾りつけ、まさに、大会に「花をそえる」ための準備を行っているのが、北杜高校・農林高校・山梨園芸高校の3つの県立高校です。

各高校では先生、生徒が授業などを通じて会場を飾りつける草



花を1年以上をかけて種から育てています。

各高校では花選びから始まり、開催が冬のため、育てられる花の種類は限られます。栽培するうえでポイントとなるのは、開花時期が異なる花々の状態を管理し、国体の開催時期に一番の見ごろとなるように育てなければいけないということです。

農林高校では園芸科草花専攻の3年の生徒8人が担当。日々、草花の状態を注意深く観察しながら、生育に取り組んでいます。夏の猛暑、また台風の影響など、



天候面では予期しえないことが多く、花の生育調整に特に苦労しています。実際の飾り付けでは花々をプランターに植栽して会場に配置します。3校で栽培する数量はプランター二〇〇鉢分になります。しかし、各高校では不測の事態に備え、必要数の倍の数を育て、その中から最もコンディションのよい花を選び会場に飾りつけるそうです。

指導にあたって清水先生は「国体はとても大きな舞台。参加する選手や関係者を応援する意味を込めて、生徒たちはひとつの目標に向かって草花を栽培しています。彼ら自身にとってもいい経験になるのでは」といいます。

栽培を担当する生徒は、「私たちの学習の成果を国体という場で披露できるのはとてもうれしい。開催当日に花を見る人たちの反応がとても楽しみ」と話してくれました。

国体期間中は高校生たちが栽培した鮮やかな花々が会場を訪れた人たちの目を楽しませてくれるでしょう。

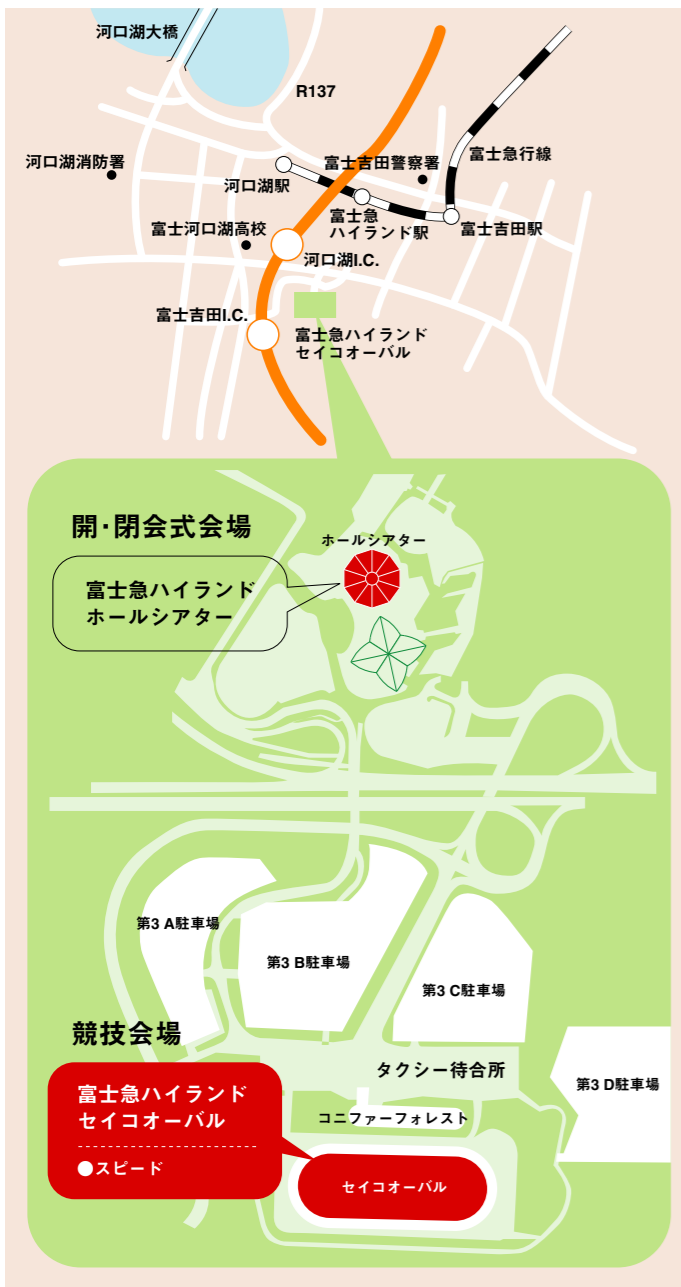
ファンファアレ隊

開閉会式のファンファアレを担当することになったのは、富士

吉田市立下吉田第二小学校の金管バンドクラブのメンバーたち。四年生から六年生の59人。ファンファアレ隊はその中から五、六年生を中心に精鋭41人で編成し、式を盛り上げます。昭和61年の「かいじ国体」では他の小学校とともにマーチングバンドを務めた実績もあります。



富士急ハイランド ホールシアター セイコオーバル

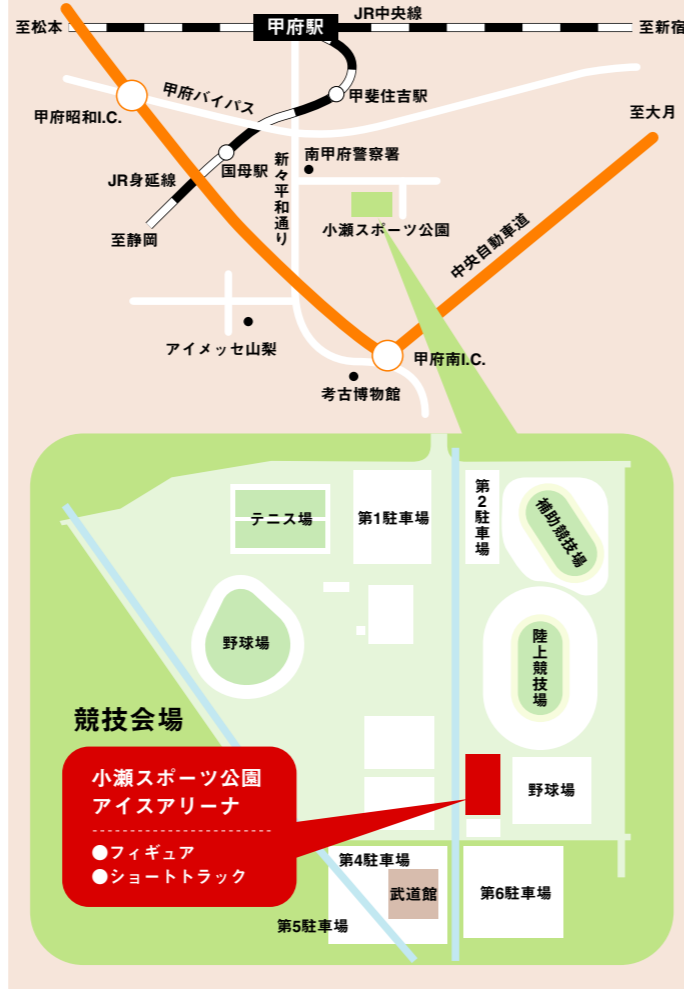


- 大会会場で熱い声援を送りましょう。
大会競技は、会場にてご自由に観戦することができます。入場料は無料です。駐車場は広く確保してありますので、お気軽に会場にお越しください。
- 開会式の当日券はありませんのでご注意ください。
開会式は、事前に申し込み(12月24日締め切り)いただいた方の中から抽選などの結果、入場整理券が送付されている方が入場できます。

やまなし・ゆめふじ国体についての
お問い合わせはこちらまで

スポーツ健康課 冬季国体企画調整担当: TEL 055 - 223 - 1592
ホームページアドレス: <http://www.pref.yamanashi.jp/kokutai2005/>
Eメールアドレス: kokutai2005@pref.yamanashi.lg.jp

小瀬スポーツ公園アイスアリーナ



応援しよう! 本県選手団

前回、青森県で開催された第59回大会における山梨県の冬季国体終了時の順位は、天皇杯第4位、皇后杯第3位でした。前回の成績を上回ろうと本県選手は、それぞれ練習に励み大会を迎えようとしています。「氷上に映す 感動 夢 キラリ」のスローガンのもと、持てる力を十分に発揮し、競い合う選手たちの姿には感動を覚えることでしょう。ぜひ、大会会場に足を運んでいただき、選手の皆さんに熱い声援を送りましょう。



スピード
1周400mのリンクで数名以上の選手が同時にスタートして着順を競います。



ショートトラック
30m×60mのインドリンクで1周111.12mのトラックを周回して着順を競います。



フィギュア
個人がショート・プログラムとフリースケーティングの2種目演技し、採点により順位を競います。

フィギュア & ショートトラック競技日程 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

日時	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日
8					
9				● 少年女子FS競技	● 少年女子500m 予選 少年男子500m 準々決勝
10		● 少年男子SP競技	● 成年女子・男子種目表彰		● 成年女子500m 準決勝 成年男子500m 決勝
11			● 少年女子SP競技	● 少年女子・男子種目表彰	● 成年女子3000mリレー決勝 成年男子5000mリレー決勝
12	● 成年女子SP競技				● 種別表彰
13		● 成年女子FS競技			
14					
15	● 成年男子SP競技		● 少年男子FS競技	● 成年男子5000mリレー予選 少年女子1000m 予選	
16				● 少年男子1000m 準々決勝 成年女子1000m 準決勝	
17		● 成年男子FS競技		● 成年男子1000m 決勝	
18					※予選～決勝は、それぞれ少年女子、少年男子、成年女子、成年男子の順で実施
19				● 少年男子5000mリレー予選	
20				● 種別表彰	
21					

スピード競技日程 富士急ハイランドセイコオーバル

日時	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日
8					
9		● 少年500m準決勝 ● 女子1500m予選 ● 少年男子1500m準決勝	● 少年男子1000m予選 ● 成年男子1000m予選	● 少年男子5000m予選 ● 成年男子5000m予選	● 全1000m決勝 ● 少年女子3000m決勝 ● 成年女子3000m決勝
10			● 少年男子10000m決勝		● 表彰式
11		● 成年男子1500m準決勝 ● 少年男子10000m予選	● 500m決勝 ● 表彰式	● 少年女子1000m準決勝 ● 少年男子1000m準決勝	● 少年男子5000m決勝 ● 成年男子5000m決勝
12			● 1500m決勝 ● 表彰式	● 少年女子3000m予選 ● 成年女子3000m予選	● 2000mリレー決勝 ● 表彰式
13	● 少年500m予選 ● 成年500m予選			● 少年男子2000mリレー予選 ● 成年男子2000mリレー予選	
14	● 少年1500m予選 ● 成年1500m予選				
15					